

豊かですこやかな社会を築くために



社会環境の変化は人々の価値観・生活観を多様化し、夫婦や血縁によらない家族形態などを生みだしつつあります。

しかし、ライフスタイルが変化しているにもかかわらず高齢者・障害者の介護等のほとんどは女性が担っているのが現状であり、その負担は大きく女性の社会参画を阻んでいます。

これからは男女が協力して介護に携わっていくとともに、介護負担を社会的な問題としてとらえ軽減を図っていく必要があります。

課題 福祉の充実

方針 13) 地域福祉サービスの充実

- 介護保険制度対象外の人に対して生活支援サービスを促進
- 特定非営利活動法人(NPO法人)等が活動しやすい環境の整備
- 地域における相互扶助の意識の啓発と交流活動を促進
- 福祉関連施設の整備と機能の充実
- 保健・医療・福祉が連携した総合的な施策推進
- シルバー人材センターの活用と職業相談の充実

方針 14) 相談体制の充実

- 総合的な相談窓口の充実
- 相談機能の拡充
- インターネットや電話での相談体制を推進
- 民間(NGO等)相談窓口との連携

方針 15) 多様な家族形態への対応

- 就業援助制度の周知や情報提供
- 家事援助のためのボランティア制度の充実
- 相談者の便宜を考慮した相談の促進
- 社会的に弱い立場にある家庭への生活支援促進

課題 生きがいと健康づくりの推進

方針 16) 生涯学習活動の支援

- さまざまな学習機会の提供の促進
- 一時保育に配慮した学習機会の提供
- 情報提供、学習相談及び活動支援のシステム化
- 学校との連携と生涯学習活動の場の充実

方針 17) 健康づくりの推進

- 生涯を通じた日常生活の健康管理と生活習慣病予防のための知識の普及・啓発
- 各年代に応じた検診体制の充実
- 学校や地域における健康教育と多様な相談体制の充実
- 心身の変化に応じた自己管理
- 健康づくりのためのスポーツ活動などの推進